いわき民報

發行所　いわき民報社
平市田町一番地（電話三八一番）
編輯兼發行人兼印刷人　千輝克己
定價　一ヶ月參圓　一部十五錢

秋職揚繰をどうする
封鎖に行き悩む資金問題
水産福島の興亡をかけて

〝水産福島〟の王座を占める鰯揚繰網漁業は早くも秋職の準備を開始することゝなつたが、小名濱港の揚繰船十九統が出漁するのには最少限度一千九百二十一萬七千八百五十圓の資金を要するにも拘らず、金融緊急措置令により封鎖資金中から新圓で拂戻されるのは俸給等の人件費に限定されて居り、一方造船、鐵工その他一切が新圓支拂ひでなければ許されてゐない狀態にあるため、船主連も新圓の手持ちは極めて僅少で、このまゝの狀況では殆んど出漁し得ぬとあり、目下船主連は頭痛鉢巻で各自取引金融機關と折衝を重ねると共に寄々對策に腐心中である萬一にこの資金の調達が出來ぬ場合はたゞに船主の打撃であるばかりか、小名濱町の運命を左右、ひいては縣水産業界の興亡に關する問題なので、各方面から成行を注視されると共に漁業會並に縣の積極的援助方が強く〳〵要望されてゐる

小名濱の死活問題
自己資金で出漁は四、五統か

資金問題が解決をみずこのまゝで漁季を迎へれば現在業者の自己資金に依り出漁し得るものは十九統中僅か四、五統に過ぎない、鰯漁は總水揚げの七割までは加工業者の手にかゝつてゐる然るに加工業者は全町に百二十名ありこの從業員は殆んど町の主婦や娘達である一面に揚繰船の漁夫も二千四百名に達してゐるので、町民の大部分は鰯漁に依り生計を營つてゐるとさへみられる、從つて出漁不能の場合は町民の死活問題にもかゝはる重大問題で町民としても大きな關心をもつてゐる、尙加工業者としても漁季となれば五百萬圓程度の資金を要望してゐるため結局この資金問題は兩者の要望を合すれば實に二千四五百万圓に達する巨額なものとなる譯である

關東北一の小名濱

關東北に〝水産福島〟の誇りを高く揭げてゐるのは一つに鰯漁に依るものと見るも過言でない即ち揚繰船は去る十五年に於いては五位にあつたものが現在は第一位を占めてゐる、各濱との比較をみると

	十五年	現在
八戸	七〇	四
宮古	三〇	一〇
銚子	三五	一二
波崎	四五	一〇
那珂湊	一〇	五
久慈濱	一二	三
大津	一二	六
平潟	三	一
江名	六	二
四倉	七	三
小名濱	一七	一九

以上の通りで採算難と農林省の統制で各濱共に著しい衰退の色をみせてゐる中に小名濱ひとり逆に増加を示してゐるのは如何に業者が缺損を度外視して守り拔いたか又小名濱自体が如何に鰯漁を生命としてゐるかが判る且つ小名濱の業者の出漁をみぬ場合は、縣の鰯漁は壞滅に等しいばかりか關東北の鰯漁に重大な影響を齎らすことゝもなり、國民生活をも脅すに至るので、縣當局としても看過し得ぬ問題といはねばならないのである

理髪器具　結髪用具　白赤毛染
パーマネント及附屬品月賦販賣（二週間教授付）
高級化粧品小間物卸　貸カツラ
平市田町一九
安藤かもじ店

リンク油
見透しつかぬ

現在業者十八名資金難に加へて漁網その他の資材の點に於いても頗る窮屈で從前の例からみると縣の配給計劃も信じ得ぬ、殊に油の問題はリンク制實施後一月から三月迄は鰯に對しては出荷貫數二千五百貫に對し一噸の割であつたものが四月からは一千貫に對し一噸とされたが、その割當は縣發表でした如く全漁業を通じて三月五百六十噸のものが四月は四百噸、五月は三百噸と漸減し今後の見透しは全くつかぬので、業者の悩みはます〳〵深刻化してゐる譯である、尙現在十九統の船主は十八氏とある

三代義勝　野崎貞行　城十郎　比佐政種　立花勇　御代龜太郎　佐川庄助　高橋友吉　高橋鐵次郎　芳賀運四郎　柳内谷助　高橋忠治　草野增太郎　運賀熊次郎　坂本常一　上野台金之助　鈴木七郎　渡邊兵左エ門

過去六ケ年
漁獲高調べ

更らに小名濱の鰯水揚げ狀況をみると左の通りで昨二十年度は十五年に較べると六分の一に減じてゐるが、これは戰爭による資材難と人手不足によるものとある、たゞ價格の點では統制の枠と物價高により大差ないとある

◆十五年一三、七三六、四六五貫（四八六五、〇七四圓）◆十六年九、六一一、六四五貫（三、九〇一、〇九五圓）◆十七年七、九一六、二六六貫（三、九五三、一一五圓）◆十八年五、三三七、九〇〇貫（三、四四〇、五一三圓）◆十九年一、六四六、一八三貫（四、三四五、七九七圓）◆二十年二、〇九七、八六三貫（三、八三五、四三五圓）

漁業會でも頭痛の種
單位組合結成か

出漁資金問題について小名濱漁業會としても頭を痛めてゐるが揚繰業者のために金融關係の保證をなすとすれば當然底曳業者を始め各業者も同樣の要望をなすことは明白なので、思ひ切つた態度にも出られずざりとて會構成の中心をなす揚繰業者連が會の態度に嫌氣さして、單位組合を別個に結成するが如き場合は折角の漁業會も存立を危ふくなす虞があるので、この際縣當局に於いて何等かの方法を講じられるやう業者とは別個に陳情中とある尙業者間に於いては單位組合の結成の意見も生れてゐるので、この點に關しても注目をひいてゐる

民主人民聯盟結成
大衆のため活動開始

磐城民主人民聯盟の結成大會は二十六日午前十時より平市公會堂に開催、出席者は社會黨、共産黨並に各勞組、團体代表市民等百余名で、共産黨の箱崎滿壽雄氏が司會、大内近雄氏が座長となり議事を進めたが、議事進行上綱領と規則制定に活潑な意見が行なはれ、議論百出して容易に決定せず、正后三十分間食に休憩したのみで午後四時頃散會したが今後は饑餓突破策を始めあらゆる點で民主的な活動を開始することになつた

役員　社、共兩黨から各三名宛其の他各勞組及び團体から一名宛合計三十六名の評議員を選任、これから更に常任評議員十五名選び委員長に大内近雄、副委員長谷川昌、箱崎滿壽雄氏等決定した

決議　一吉田反動内閣の即時打倒民主人民内閣の樹立　二地方自治制の確立、知事市町村長公選即時實施　三戰爭中からの市町村長及議員の即時辭職要求　四公職追放該當者の徹底的追放　五勞働組合に依る經營參加　六土地取上げ反對、耕作權確立、肥料農機具の即時配給　七强權發動反對、自主的供米の確立　八食糧及各種配給機關に民主的團体代表參加　九大口隱匿物資に對する民主團体の參加に依る共同摘發委員會の設立　十戰災者及海外引揚者に對する神社佛閣大邸宅の解放　十一借地人借家人に對する不當なる地主家主の强制立退絕對反對

尙別個に次の決議案が提案された

▼錦町加里工業勞組　今や死力を盡して攻勢に出て來た資本家、地主、官僚どもに對し、吾々はこれから徹底的に反擊を準備する

▼八幡自動車勞組　全國主要都市に家無く身寄なき貧困者なる自由勞働者のため、國立飯場の急速實現運動展開

警防團問責の妥協排擊
人民聯盟大會で決議

平市會へ提案された市警防團長問責決議案は全市民の關心をあつめてゐるが、別項民主聯盟結成式でもこの問題が取上げられ妥協を排すべしと次のやうな決議案が可決された

決議　去る五月十四日平市會に於て採擇された平市常備消防の怠慢及び平警防團長關内正一君の市公用自動車濫用に關する緊急決議案につき、本聯盟は事平市民に關する重大問題なるに鑑み、市會の使命なる右調査委員が最も嚴密なる調査に基き、卑くも不純なる妥協を排し、公正なる發展を期待しその責任を明かにされんことを期す

湯本女靑婦人講座

湯本町青年會女子部では婦人の思想文化の向上に資するため、二十六日午後六時半から舊湯本國民學校で婦人講座を開いたが講師は成田龍美女史

貨物輸送の相談所設置

荷馬車屋さんも民主的になつて今度平地區小運搬組合に『貨物輸送相談所』の看板を揭げる不自由勝ちな運搬について市民の相談に應じることになつたわけだが特に資材の入手がつき次第一般の荷造りも請負ひ電話一つで簡單に發送が出來るやうに荷造班の編成についても目下計畫中にある

聲明書

五月二十六日正午頑冥なる會社側も全組合員の鐵石の團結と我等を支持する絕大なる輿論の前に潰え去り遂に我等の正當なる要求を全面的に容認するに至りたるを以て玆に二旬余に亘る爭議の終了を宣言す

五月四日從業員組合による經營管理斷行以來需用家各位並に民主戰線各團体勞働組合同志より寄せられたる絕大なる御支援を深く謝すると共に經營管理の完全なる遂行に依り獲得したる貴重なる體驗を基礎として今後は益々民主戰線の結集に敢鬪し爭議期間中實施したるサービス改善の恒常化を强力に推進し以て各位の御援助に應へん事を期す

右聲明す

昭和二十一年五月二十六日

東北配電從業員組合
爭議團福島支部
平地區

純益五千余圓
引揚聯盟の決算

海外引揚同胞磐城聯盟では資金募集のため去る二十一日晝夜二回紫樂館で音樂と舞踊の會を催したが、その收支決算が二十七日發表されたが左の通り差引五千四百十五圓の純益をみた

◆收入七、二六五圓　◆支出一、八五〇圓（劇場費三〇〇、ヒバリ樂劇團謝禮五〇〇、花柳舞踊團全五〇〇、隣保館全一〇〇、前賣券印刷その他筆墨代四五〇）◆差引五、四一五圓

特務雇員大會

石城遞信特務雇員大會は二十五日午后二時から湯本局で湯本、磐崎、泉、綴、植田、勿來、好間、四倉、下小川、草野、錦の十二特定局代表が參集、勤勞條件、物資配給、特定局の差別待遇等の決議案を仙遞局へ提出、目的の貫徹を期することゝした尙女子への雨具履物の配給も特に要望された

いわき寸言

▼明朗な民主政治の實現を期し磐城民主人民聯盟が結成された、緊迫せる食糧問題を始め爲すべき重要案件十指を出す、吾等も擧げて協力すべきことを誓ふものであるが、マ司令部の聲明された線から逸脫せざるやう健全な指導が望ましい

▼警防團長問責案に對し妥協排擊の聲擧る、市會の明朗化を圖るため傾聽すべき至言なり、闇から闇は吾等も執らざる處結果を注目すべし

▼切符の枠が外れ、驛待合室は自然に淸潔に成つた、但し列車內はイモを洗ふが如し、民衆の自覺に俟つて乘車を抑制すべきか、乃至は再び統制の枠に入れるべきか一考を要する問題なり官僚統制が徹廢された場合自主的統制の必要を痛感する

商店失調症の原因を衝く

華やかだつた〃商都平市〃の面影も今はいづこ闇市の活況に引換えて消然たるものがある、『商品のない商店』もその大きな原因であるが〃商人道〃にばかり捉はれて闇商品に手をふれないのもその大きな原因である、だからと云つて統制に違反せよと云ふ譯でなく、結果から見て他の都市より商品が少ない嘆きを昔の平商人の名にかけても日用必需品位は或る程度獲得して欲しい、なぜ商店界は活氣がないのだらうか？失調症に陥つてゐる平市商店界の今後の歩んで欲しい道を各方面から聽いて見た—

紋切り型の取締り祟る
福島や郡山の明るさに學べ
余りにも舊態依然たる平署

【某商店主談】同じ縣内でも福島郡山は非常に商品が豊富そのため闇市のやうに不衛生でなく定價も明示してあるので掛引のない明るい買物が出來てゐるやうです、平地方が他の都市に較べて商品がないと云ふ最大の原因は警察署にあると思ふ、同じ商品で然も縣内であつて賣つて惡い品と良い品がない筈です、それは皆警察の取締如何に依ると思ひます金を出しても品がなくて買へない時に途方もない闇相場が出來上るものですよ、先に一齊に行つたスルメの話は良く取締の良否がはつきり判ると思ひます

當時一枚三圓程度で公に賣買されてゐたスルメが警察の手で取締が始るとたちまちスルメは店頭から姿を消したが價格は逆にはね上つて今度は一般市場に出てないことを口實に一枚五圓で賣買されるやうになつたものだ

縣廳の所在地である福島でさへ品物を多く出廻つて來るやうにと取締を寛大にしてゐるではないか、商店界が復活するのも警察の態度如何にあると思ひます舊態依然たる型にはまつた官僚政策はさらりと捨てゝもつと民主的な寛大な態度をとられることを伸びやうとしてゐる商店界のために切に祈るものであります、それは絶對量の足りない現在をよく認識されて…

市民の良心に訴ふ
平地區配給統制組合の辯

傳統に生る商店側にとつては非常に良心的であるため闇市と五十歩百歩の眞似はしたくない、或る程度經濟界が安定するまで靜觀したいと云つた形です、最近食糧、衣料、燃料を除いて企業の許可が不要になつた關係で荒物雜貨の商店が大部復活して來ました、また買ふ客も新圓生活のためか品物をよく選定して來た、それに下駄、石鹸類も多く出て來たしゴム長靴も半値近くなつて來た、こう云ふ風に品が出廻れば自然價格も下落するし良質なものは殘り、惡品は排斥されることになり或る程度信用のある品、信用のある店が流行することになる譯で昔の商店界へ復活して行くことにもなります、市民が成可く眞面目な店を選んで利用すれば今後の復活も案外早いと思ひます

大き過ぎる購買力
暖簾尊重も一因

【市配給課談】石城地方は非常に購買力が大きいので箇かばかりの品を仕入れたのでは需要に應じ切れない、このため半休の形をとつてゐる商店界が淋しく見えるのでせう、それに平の商人と云へば昔は暗に響いたものですが一般に購買力が高いので一寸した不良品や高いものを賣ると誰もが購ふため非難の聲が直ぐ市内に高まる、信用のある商人はそんな此間は今後の信用にも拘はるので一切手を出したくないと云ふのが實狀でないでせうか、ノレンにばかりにこだわるからでそれが長所あり短所でもあると云へる譯です、次に商店を育成して行くのは市民自身だと云ふことも强調したいものです、魚や他の配給で目減がすると騒いてをりますが、それも見方に依つては市民が惡いと思ふのですね、隣組邊りで一括配給があつた場合は時々目方を試して見ることです、不足分は堂々と請求して業者の不正を立入れる際をなくすことが肝心で商人を善導する意味からも隣組邊りで不正防止に乘出して欲しいものです

先づ望むは入り良い店

【消費者側談】商店かこれから相當重要な地位を占めて來るのでその復活には皆相當關心を持つてゐるやうですが入辛い店が一番嫌です、それに今迄何んでも配給取扱だつたので商店自身が配給してやる、賣つてやると云ふ態度で非常に不親切になつてゐる、商品不足よりも何よりも客を輕蔑する惡い癖を先づ矯正して欲しい、そして入り良い店になることが先決だ、そうすれば恪好惡い思して豁店を利用する必要がなくなると思ふ、商店に品を持せることとサービスを良く行屆くやう望みたい

衛生組合復活

平市では區内會の健民部廢止を行つて昔同樣衛生區を復活させることになり近く衛生區長、世話掛も決定する豫定だがこれと併行して衛生組合も復活の氣運にあり惡疫の流行する夏季を控えて衛生課も强化されることになつた

開放

投稿を歡迎す　要望批判結構　紙上匿名可

正しき職へ

▼…勤勞者の就業希望者調査の結果は豫想を全然裏切つて僅か一割にも滿たない七百余名とある、この數字を眞なりとすれば深刻極まる世相とは全然正反對であつて、眞に國家のためにも石城地方のためにも御同慶の至りに堪えぬことである

▼……然しながら遊んでゐるといふのは面子の問題にかゝるからといつて、强ひて職に就いてゐるが如くに装つてゐる者も尠くないと聽く、事實とするならば相も變らぬ封建的島國根性であるといはねばならない、見榮や面子で生きてゆけないのである

▼…又一部には安月給や日給で縛られて暮すなら闇をやれ、一背負ひして來れば、しがない安サラリーマン達の一月分や二月分の稼ぎは朝飯前だ、職など探してゐられるものか、闇から闇への商賣往來に變身をやつす向が多い結果ともいへるとある

▼…闇の稼ぎは確かに大きい、然し如何に大きくともそれが即時國の利益にも深刻化した食生活の救ひにもならない、國民の一人〳〵が乏しくとも正しき生産面、建設面の仕事に就いてこそ國家の利益でありインフレ防止ともなるのである、この機會こそ失業者には就職の絶好の機會なのである

▼…世の失職者達よ！お互に正しく生きやうではないか、面子問題など、見榮など一擲して堂々名乘り上げて働き口を授けられやう、そして祖國再建に協力しやうではないか

（一失業青年）

生活と文化　古今集雜記　（5）

千輝克己

紀貫之は後世歌聖として崇拜家を多數有してゐたが、歌の点からみると寧ろ在原業平の方が一段と上で、彼は決して名匠天才ではなかつたのである。彼の功績は古今集を編んだことや叉その序文に於いての功の方が遙かに大きい。この序文は歌學の濫觴であつて續いて來る時代の先驅をなしたものであつた。

その冒頭に於いて

やまと歌は人の心を種として萬の言の葉とぞなれりける

と述べて、歌の本義を說き次いで、それは靈活な人の心が萬象に接觸して發するものであることをいひ

男女の中をも和げ、猛き武士の心をもなぐさめ

とその効果を陳べ、和歌の起源に言及し、當時の歌を評論してゐる。之れに對して流布本の卷末には紀淑望の名に成る眞名序が附してある。それと前述の假名序とは敍說の順序、言辭の使用が殆んど同一であるから何れが先きであるかといふことに就いては幾多學者の論議もある。この序の考だけでも數種にのぼつてゐる。上奏の集には何れもなく共に後人がこれに加へたといふことである。

以上で大体の解說も終つたから最后に古今集を研究せんとする人々のために註釋論評の書として參考となるものを二、三あげて置かう。

◈古今抄余材（全二十卷寫本釋契沖著）◈古今集打聽（全十九冊、加茂眞淵著）◈古今集遠眼鏡（六冊、本居宣長著）◈古今和歌集正義（香川景樹著）◈古今集和歌評釋（金子元臣著）◈古今集評解（中邨秋香著）

萬葉集から　東歌抄（1）

みつか

萬葉集卷十四の東歌の部には國の知れた雜の歌五首（上總一、下總一、常陸二、信濃一）同相聞七十六首（遠江二、駿河五、伊豆一、相模十二、武藏九、上總二、下總四、常陸十、信濃四、上野二十二、下野二、陸奥三）譬論歌九首（遠江一、駿河一、相模三、上野三、陸奥一）と國の知れぬ雜歌十七首、相聞百十二首、防人歌五首、譬論歌五首、挽歌一首の合計二百三十首がおさめられてゐる、何れも東國の簡撲粗野と人情を有りのまゝに歌つてゐて、萬葉集の中でも朗々誦すべきものが、こゝに最も多く集められてゐる、以下二、三首に就いてみやう

戀しけば袖を振らむを武藏野のうけらが花の色に出なゆめ

武藏の國の相聞の一首、戀しけば戀しくあらばの意、袖を振るは別離相思の情を現はす、今はハンカチを振る類か、色に出なゆめは人にゆめ〳〵知らるゝなかれの意、うけらが花は古語でおけらの花、こゝでは色といはむが爲めの序辭、然し無意義の序ではなくて矢張り一首の構成上切り離し得ぬ關係をもつてゐる、萬葉序にはこのやうな方法で使用してゐるものが多い一首の意は戀しくなつたら袖を振つてでも思つてゐればよいのだのにこの武藏野に咲くうけらの花ではないが色にゆめゆめ出さないやうにして下さいとのもので、なか〳〵に含みの多い愛すべき歌である

信濃なる筑摩の川のさゞれしも君しふみてば玉と拾はむ

これは信濃の相聞の一首、さゞれしは小石、即ち川原の眞砂である、筑摩の川は千曲川のこと他は說明するまでもなく一首の意は、千曲川の川原の小石でもわが思ふ君が踏んだのだと知るならば拾ひ取つて玉とも愛でやうとのもので切ない情を歌つてしみ〳〵と稚く、何等ものにこだはらずに自分の情を述べてゐるところがよい

平硝子製作所
平窯業株式會社
平木工株式會社

佐藤幸太郎商店
佐藤幸太郎
本社　平市田町電四五五
東京事務所　東京都芝區新橋二ノ三八）鳥丸ビル
小名濱出張所　小名濱町定西

小名濱町
富ケ浦病院
院長　安田善一　電話三三番
内科　安田善一
小兒科　佐藤忍　師田むめ子
眼科　備井榮
産婦人科　下田林之助
耳鼻咽喉科　師田むめ子
外科皮膚科泌尿器科　下田林之助
臨床試驗室　佐藤忍
藥劑士　足立理幸　依田壽美子

類焼御見舞御禮
神谷藥店
平市田町一三番地
神谷明

類焼御見舞御禮
福榮亭
平市田町一四番地
佐藤サダ